

2023年2月10日

各 位

会 社 名 ソーシャルワイヤー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 庄子 素史
 (コード番号：3929 東証グロース)
 問合せ先 経営企画部長 小林 宏至
 (TEL. 03-5363-4872)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月11日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 通期連結業績予想の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,000	百万円 △155	百万円 △170	百万円 △180	円 銭 △29.46
今回修正予想 (B)	4,670	△280	△280	△270	△44.20
増減額 (B-A)	△330	△125	△110	△90	
増減率 (%)	△6.6	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	4,630	164	137	28	4.79

修正の理由

2022年5月11日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的パンデミックにより消費活動における価値観は不可逆的に変化し、デジタルPR、シェアオフィス業界においてもパラダイムシフトがおこなわれると想定した前提により影響額を試算し、業績予想を開示しておりました。さらに、コロナ禍における成長の急激な鈍化に対応するため、コーポレートビジョン・経営方針の刷新が必要と判断し、新方針推進にあたり代表取締役社長の交代を図り、ニューノーマル時代における付加価値の追求による企業価値の向上を図るべく、新たな経営方針の基で会社運営に努めてまいりました。

しかしながら、デジタルPR事業につきましては将来の事業価値を増大するためのプロダクト価値向上の投資活動、およびその認知拡大に向けた広告宣伝活動の効果発現までの遅延、国内における新型コロナウイルス感染者数の大幅な増加を受けた企業のPR活動が軟調であったこと、シェアオフィス事業にお

いては、2022年1月に日本橋拠点、2022年6月に福岡拠点の新規拠点開設をおこない、稼働率は順調に推移しているものの、原材料不足や円安等による修繕部材の高騰や光熱費等のエネルギー費用の高騰による設備機器や運営費用等が負担増となり、変動費や固定費の削減等にも努めましたが、前回予想を下回る見込みとなりました。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上